

建築主：関東ITソフトウェア健康保険組合
 設計：株式会社 日建設計 一級建築士事務所
 所在地：館山市洲宮833-1

太平洋を見下ろす丘の上の保養施設

トスラブ館山ルアーナ



敷地の原風景を踏襲した安全安心な中庭

(撮影/ 森 雅博)

房総半島と南端の高台に建つ保養施設。ITS健保の組合員およびその家族の健康増進のための宿泊施設である。長さ160mほどの弧を描いた2階建ての建物が丘の上に横たわっている。下から見上げると、丘のラインをなぞるようにずっと建物が付加されており、規模に比して既存景観に馴染んでいる。

1階にレストランや浴室・屋内プールなどの施設を配し、2階に客室がずらっと並ぶ。太平洋が一望できる半面、外洋からの強い風に曝される立地だ。敷地海側にあった土手を削って、反対側にマウンドを築き、海側のラインに沿った建物とマウンドで、円形の中庭を守るように囲んでいる。風土に呼応した巧いデザインだ。23室ほどの客室は、中庭側の廊下から客室に入ると、海に開いた空間の膨らみが心地よい。駐車スペースはマウンドの背後にあって、2階客席廊下から見ても目に入らないように計算さ



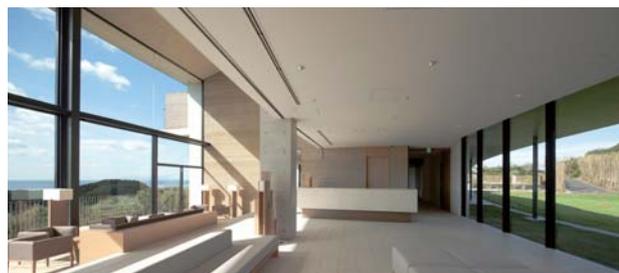
周辺環境との共生を図った外観

れている。中庭からは、2階廊下の開口部高さがおさえられていることの効果もあって、実際のスケール以上にのびのびとした広がりを感じられる。

エントランスからロビーにかけての壁に、この地に特徴的な地層のメタファが読み取れる。色の異なる土を塗り重ねて溝を彫り込むことで表現している。

房総半島には、高度成長期から、民間企業の福利厚生施設や自治体、大学の合宿所、公共の保養所など、多数建てられてきた。老朽化して処分に困っているものも少なくない。「トスラブ館山ルアーナ」は、数十年後に今の機能を失ったとしても、丘から変わらぬ太平洋を見下ろす建物であり続けてほしいと願っている。

(岡部 明子)



海と里山を同時に享受できるロビーラウンジ

(撮影/ 平剛風アトリエ)